

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月26日(金)	第53回通常総会	広 島 市	2号2ページ参照
	5月27日(土)	総合講演会	同	2号2 "
	5月27日(土) ～28日(日)	学術講演会	同	2号2 "
	5月27日(土)	懇 親 会	同	2号2 "
	5月29日(月) ～30日(火)	見 学 会	中四地区	2号2 "
北海道支部	2月22日(水)	研究発表会	札 幌 市	1号6 "
	3月8日(水)	講 習 会	同	1号6 "
東北支部	2月21日(火)	研究発表会	仙 台 市	2号4 "
中部支部	2月21日(火)	第2回講習会	名 古 屋 市	1号7 "
	2月17日(金)	砕石コンクリート講習会	同	2号4 "
関西支部	2月21日(火) ～22日(水)	耐震設計に関する講習会	大 阪 市	12号11 "
	3月16日(木)	福井地区講演会	福 井 市	2号5 "
	3月23日(木) ～24日(金)	岩盤の調査・計測と設計・施工に関する講習会	大 阪 市	1号8 "
	3月27日(月) ～28日(火)	水理学・水文学における最近の進歩に関する講習会	同	2号6 "
そ の 他	3月24日(金)	特性曲線法の水工設計面への応用セミナー	東 京	2号3 "
お知らせ	■土木学会総会並びに土木学会全国大会開催についての要項			2号2 "
	■昭和42年度論文集予約申込みについて			2号3 "
	■第5回接着研究発表会講演募集			2号3 "
	■国際会議のお知らせ			2号6 "
	■実験指導書のご利用の方へ			2号7 "

評 議 員 選 挙 告 示

昭和42年度評議員選挙を各支部ごとに4月末日までに行ないます。各支部の評議員定数は、1月末日現在の所属会員数に比例して、つぎのとおりであります。

支 部	北 海 道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
会 員 数	1568	1474	9783	2879	5361	1345	1612	24022
評 議 員 数	6	6	41	12	22	6	7	100

理 事 お よ び 監 事 選 挙 告 示

昭和42年度理事および監事選挙を5月上旬までに行ないます。

土木学会総会並びに土木学会全国大会開催についての要項(昭和43年より実施)

(昭和41年11月25日理事会決定)

本学会では年次学術講演会の講演数が急速に増加した現状から、総会ならびに年次学術講演会のあり方について、検討してきたところでありますが、昭和43年からつぎの要項で実施することになりましたのでお知らせいたします。

実 施 要 項

1. 総会は従来どおり5月末に開催する。
開催地を毎年東京とする。
2. 年次学術講演会は、ほかに他の講演会等を加えて「土木学会 昭和〇〇年度全国大会」と称し、開催時期は原則として9月または10月の大学の休みの時期とし、支部の事情によって決める。
開催地は全国各支部を持ち回ることとする。
3. 土木学会全国大会はつぎの講演会および行事を行なう。

講 演 会

- 1) 年次学術講演会は大体従来どおりとし、日数をおおよそ2日間とす。
- 2) 総合講演会は特別講演、部門講演およびPR講演とし、おおよそ1日間とす。
 - i) 特別講演は会長講演およびトピック的な講演2～3題とす。
 - ii) 部門講演は4部門(年次学術講演の分類による)の各部門から1～2題、講演時間合計4時間程度とし、その内容はその部門の全体または1部でもよいが、最近の展望的なもの、興味ある工事報告、画期的なプロジェクト等とする。難解な内容はなるべくさげ、かつ毎年ダブらないようにする。
 - iii) PR講演は一般公衆の土木工学への理解を深めるため行ない、通俗講演と国土開発映画とする。時間は夜間とする。

行 事

- 1) 懇親会はなるべく簡素にし、開催日は年次学術講演会の第1日の夜間とす。
- 2) 見学会は大体従来どおりとする。

第53回通常総会および第22回年次学術講演会

昭和42年度通常総会および年次学術講演会は、つぎの日程で広島市において開催いたします。学術講演の申込みは1月15日で締切りました。

講演概要の原稿は2月28日(火)までに学術講演会係(広島市千田町3丁目8の2 広島大学土木教室 網干寿夫教授)あて直送して下さい。

○ 行 事 日 程

1. 通常総会：1957年5月26日(金)14時～17時 於広島銀行本店会議室
2. 総合講演会：1957年5月27日(土)9時～12時 於見真講堂
鉄道の現状と将来 土木学会会長 篠原武司
古代の国土計画—中四国における条理の施工— 広島大学教授 米倉二郎
本州四国連絡橋技術調査委員会における技術的問題点 土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会委員長 青木楠男
3. 学術講演会：1957年5月27日(土)13時～17時 } 於広大教養部
5月28日(日)9時～17時 }
4. 懇親会：1957年5月27日(土)18時～19時30分 羽田別荘
5. 見学会：
(A) 広島近郊コース(市内観光～宮島) 5月29日(月)(5時間)

(B) 出雲路コース(玉造温泉泊, 米子駅解散) 5月29日(月)~30日(火)

(C) 四国コース(高松泊, 高知駅解散) "

なお, 総会, 懇親会, 見学会, 講演概要などの申込み方法は学会誌3月号でお知らせいたします。また, 従来, 4月末に別途発送していましたがプログラムは学会誌3月号に綴込みますのでご了承下さい。

○土木学会第22回年次学術講演会実施要領

- ① 研究発表には, 各部門ともできる限り, 一般報告の方式を採用し, やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は, 同じ種別の論文数編ずつを, 学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し, その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には, 各著者が自らこれに当り, 場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 一般報告に付する論文は学会で決定し, 学会誌3月号に掲載する。
- ④ 講演概要の記述にあたっては, 一般報告者が, その概要にもとづいて報告することを予想し, 必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。
- ⑤ 個人発表の方式では, 講演時間を10分(討議および交代時間を含む)とする。

昭和42年度論文集予約申込みについて

◀ 申込締切 3月31日 ▶

42年度論文集(42年4月~43年3月)の予約申込みを行ないますので, ご希望の方は年間講読料1000円(外地の場合は6ドル)を添えて, 3月31日までにお申込み下さい。従来購読されておられる方もお忘れなくお申込み下さい。

特性曲線法の水工設計面への応用に関するセミナー

オランダ デルフトの国際水工学および衛生工学コース講師 Dr. M. Abbott が来日されますので, 水理委員会主催で下記により同氏を囲みセミナーを開催します。多数ご参加下さるようご案内します。

1. 日 時: 1967年3月24日(金) 15.00~17.30
2. 会 場: 私学会館(国電市ヶ谷駅下車 徒歩3分 TEL (261) 9921)
3. Abbott氏講演題目: The Role of the Theory of Characteristics in Hydraulic Design

第5回接着研究発表会講演募集

1. 主 催: 日本接着協会, ほか数団体
2. 日 時: 1967年8月7日(水), 8日(木)
3. 会 場: 東京工業大学講堂(東京都目黒区大岡山)
4. 特別講演: 2件(未定)
5. 研究発表: 15分 討論5分
6. 研究発表の内容: 接着に関連があるすべての研究 (A)物性 (B)界面現象 (C)合成 (D)応用加工 (E)分析 (F)試験法
7. 申込締切: 3月20日(必着)
8. 申込方法: 研究発表申込書を送付して下さい(申込書は自作で可)。申込書には下記の事項を明記。
(A)演題 (B)研究者(氏名, 勤務先, 住所, 電話, 発表者に○印) (C)スライド, またはビラの有無 (D)講演内容(100字程度)
9. 講演要旨締切: 4月30日(申込者には所定の写真印刷用原稿用紙をお送りします)。
10. 申込取消: プログラム編成に差し支えますので, 1日も早くお願いします。
11. 申込先: 大阪市西区江之子島 大阪府立工業奨励館内 日本接着協会年会係 TEL (441) 4755~4759
12. 東京連絡先: 東京都目黒区大岡山
東京工業大学高分子工学科(畑研究室内) 日本接着協会関東支部 TEL (726) 1111 内線 334

東北支部行事案内(仙台市北三番丁 124
建設省東北地方建設局企画室内 電 仙台 25-2171)

昭和 41 年度東北支部研究発表会

◀ 2 月 21 日 (火) ▶

1. 場 所：宮城県民会館 6階 3, 4 会議室
(仙台市禅寺通り櫓丁48)
2. 定 員：200 名 参加費無料
3. 申 込 み：2 月 15 日 (水) までに東北支部に勤務場所、氏名をご連絡下さい。
4. 研究発表会プログラム：

第 1 部門		(河川教室)
	9.00~ 9.10	開会あいさつ
1	9.10~ 9.30	凝集剤の研究について 東北大学工学部 堀岡正和
2	9.30~ 9.50	八木の津波遡上について 東北大学工学部 岩崎敏夫・○富樫宏由
3	9.50~10.10	仙台新港防波堤の設計波について 運輸省第二港湾塩釜工事々務所○関口雅臣・木暮建一郎・井手忠博
4	10.10~10.30	散水ろ床法の浄化効果に及ぼす溶存酸素の影響について 東北大学工学部 長谷川信夫○本田善則
5	10.30~10.50	活性汚泥法の浄化指標について 東北大学工学部 大沼正郎・○中村玄正
6	10.50~11.10	嫌気性消化に及ぼす塩類の影響について 東北大学工学部 野池達也
7	11.10~11.30	成層密度流れの境界面附近の乱れに関する研究 東北大学工学部 岩崎敏夫・○菅野一彦
8	11.30~11.50	長波の研究用造波装置とその特性について 東北大学工学部 岩崎敏夫・○楊 沢民
	昼食休憩 12.00~13.00	
特別講演	13.00~14.00	水理学界の最近の動きについて 東北大学教授 岩崎敏夫
9	14.00~14.20	自然河川河口部における洪水波と潮汐波との重合に関する研究 東北大学工学部 岩崎敏夫・○高井俊郎
10	14.20~14.40	洪水予報の迅速化に関する一寄与 東北大学工学部 岩崎敏夫・○阿部至雄・東北地建北上川下流工事事務所 安中敏夫
11	14.40~15.00	海岸護岸の超波に関する一実験 東北大学工学部 岩崎敏夫・○沼田 淳
12	15.00~15.20	福島沿岸におけるいわゆる高潮災害について 東北大学工学部 岩崎敏夫・沼田 淳・○長谷直樹
13	15.20~15.40	東北地区における漂砂被害の概況 東北大学工学部 ○岩崎敏夫・沼田 淳・長谷直樹
14	15.40~16.00	釜房ダム越流余水吐水理模型実験(中間報告) 東北大学工学部 岩崎敏夫・○大島忠剛・東北地建釜房ダム工事々務所 大石克雄・佐々木昭一郎・荒井 治
15	16.00~16.30	現場実験による海岸護岸の基礎と根固めの経済的工法 海岸工法研究所 西東慶治
	第 2 部門	(道路教室)
	9.00~ 9.10	開会あいさつ
1	9.10~ 9.30	くり返し応力を受けた土の硬化現象について 東北大学工学部 ○小川正二・范 世亮
2	9.30~ 9.50	仙台火力発電所構内埋立地の地震動特性について 東北大学工学部 ○浅田秋江・柳沢栄司・東北電力 土方怒成・遠藤泰志
3	9.50~10.10	防波堤H形鋼沈床に関する模型実験 東北大学工学部 佐武正雄・○伊藤 暁
4	10.10~10.30	弾性床上の梁の極限解析 東北大学工学部 佐武正雄・○岸野佑次
5	10.30~10.50	P C鋼線とコンクリートの付着に関する一実験 東北大学工学部 後藤幸正・植田紳治・○多田信幸
6	10.50~11.10	各種減水剤を用いたコンクリートに関する実験 東北大学工学部 植田紳治・杉山喜徳・寒川工業高校 田中 繁
7	11.10~11.30	自動化ヤードの構造に関する二、三の問題 国鉄盛工仙台工事々務所 齋藤政治
8	11.30~11.50	生石灰による盛土材料の改良について 国鉄盛工 石田 宏
	昼食休憩 12.00~13.00	
特別講演	13.10~14.00	構造理論の最近の動きについて 東北大学教授 樋浦大三
9	14.00~14.20	大型圧気ケーソンの掘削沈下現象 東北電力KK八戸火力建設所 宮坂節雄・○北松治男
10	14.20~14.40	常盤バイパスの計画について 東北地建磐城国道工事々務所 市川 実・及川弘之・○後藤 忠
11	14.40~15.00	アスファルト舗装のスベリ抵抗について(トベカ) 東北地建仙台技術事務所 ○山田俊郎・若生 宏
12	15.00~15.20	上路式補剛アーチの自由振動周期について 東北大学工学部 樋浦大三・○樋波 滋
13	15.20~15.40	弾性アーチの大きな変形についての二、三の考察 東北大学工学部 樋浦大三・○古宮伸悟

中部支部行事案内(名古屋市市中村区笹島町 1 の 223
名古屋鉄道株式会社土木部内 電 名古屋 571-2111)

砕石コンクリート講習会

◀ 3 月 17 日 (金) ▶

共 催：日本材料学会 同中部支部・土木学会中部支部・日本建築学会東海支部

協 賛：愛知建築士会・愛知県建設業協会・東海生コン協会

1. 日 時：1967 年 3 月 17 日 (金) 9.00~17.00
2. 会 場：東海建築文化センター 9階ホール (名古屋中区南武平町 1 の 12)
3. 講師および題目：

- 9.00~ 9.40 砕石コンクリートの概説
- 9.40~10.40 砕石の岩質と採石法について
- 10.50~11.50 砕石事業の概況ならびに砕石の製造について
- 12.40~13.40 砕石コンクリートの諸性質
- 13.40~14.40 砕石コンクリート施工
- 14.50~15.50 石灰石砕石および石灰石コンクリートについて
- 15.50~16.50 鉋漕パラストについて

- 名工大 木沢久兵衛
- 京大工 岡行俊
- 未定
- 京大工 岡田清
- 千葉工大 大島久次
- 大阪セメント 中堂昭
- 八幡化学 小松原正夫

- 4. 定 員：200 名
- 5. 参 加 会 費：会員 1500 円 会員外 1800 円 (いずれもテキスト 1 部含む)
ただし、会員でも講習会当日のお申し込みは 1800 円となりますので期限内にお申し込みください。
- 6. テ キ ス ト：テキストのみご希望の方は 1 部 700 円 (送料共) で頒布いたします。
ただし、発送は講習会終了後になります。

- 7. 申 込 締 切：3 月 11 日 (土)
- 8. 申 込 方 法：下記様式にご記入のうえ、参加会費を添えて (現金書留を利用) お申し込みください。

- 9. 申 込 先：名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学建築学科教室内 日本材料学会中部支部

- [ご注意] (1) 受講者には参加証をお送りいたしますから当日は必ずご持参ください。
 (2) 共催、協賛、団体の会員である会社からの申し込みは受講者が会員外でも会員として取り扱いいます。
 (3) 講師その他やむを得ぬ事情で都合によりプログラムに一部変更があるかも知れませんが、あらかじめお含
 みおきください。
 (4) 参加会費の払いもどしはいたしません。

砕石コンクリート講習会申込書様式

所 属		会 員 資 格	
所 在 地			
連 絡 先			
送 金 内 容	1500 円, 1800 円 ×	名 計	円 月 日送金
受 講 者 氏 名		受 講 番 号	※
"		"	※

※ 印はご記入におよびません。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町 1 丁目 149 番地
 電 大阪 (06) 981-2510 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 福井地区講演会

◀ 3 月 16 日 (木) ▶

共 催：土木学会関西支部・福井県建設技術協会

- 1. 期 日：1967 年 3 月 16 日 (木)
- 2. 場 所：福井県民会館 7 階大集会室 電話 福井 (0776) 23-8400
福井市御屋形町 701 福井駅より徒歩 10 分中央公園横 県庁西隣

3. 題目と講師：

- | | | |
|----------------|------------------------------------|--------------------------|
| | 開 会 の 接 拶 | 土木学会関西支部長 小 西 一 郎 |
| 10.00~12.00 | ① 土質力学入門 (土質とその試験法・土庄) | 京都大学教授 工博 赤 井 浩 一 |
| 13.00~14.00 | ② 土質力学入門 (地盤支持力) | 大阪大学教授 工博 伊 藤 富 雄 |
| 14.00~15.00 | ③ 福井地方の地すべりについて | 福井大学教授 理博 塚 野 善 蔵 |
| 15.00~16.00 | ④ 北陸縦貫自動車道の建設について | 日本道路公団高速道路金沢建設所長 堀 内 弘 頭 |
| 映画：16.00~17.30 | 1. 東海道新幹線 (総集編) 16ミリ カラー シネスコ 46 分 | |
| | 2. 北国を建設する " " " 30 分 | |
| | 閉 会 の 接 拶 | 福井県建設技術協会長 山 下 甚 吾 |

- 4. 定 員：200 名
- 5. 聴 講：無料、来聴歓迎
- 6. そ の 他：土質力学入門ではテキストとして「土質力学」(赤井浩一著、朝倉書店刊、朝倉土木工学講座 No. 5 定価 1200 円)を使用いたします。
希望者には当日会場において特別頒価 800 円にて頒布いたします。(ただし先着順 200 部限り)

(2) 講習会「水理学・水文学に関する最近の進歩」

◀ 3月27日(月)~28日(火) ▶

1. 期 日：1967年3月27日(月)、28日(火)の両日
2. 場 所：大阪科学技術センター 8階大ホール
3. 題目、講師その他 詳細は学会誌1月号を参照下さい。

(3) 会員懇親パーティー(同上講習会第1日終了後)

◀ 3月27日(月) ▶

1. 日 時：1967年3月27日(月)17時よりの予定
2. 場 所：大阪科学技術センター 8階小ホール 電話 大阪(06)443-5321
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)
3. 参加資格：35才未満の土木学会会員
4. 参加費：200円
5. 定 員：100名
6. 申込締切：1967年3月11日(土)
7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、および氏名を明記して(様式随意)上記参加費200円を添えて3月11日(土)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。

(附) テキスト頒布について

(土木学会関西支部刊行)

道路・交通工学における最近の諸問題	頒 価	500円	送料	60円
プレストレストコンクリート最近の進歩	"	800円	"	80円
土木構造物の振動と安全性	"	1000円	"	80円
シールド工法	"	700円	"	80円
土質改良工法	"	600円	"	60円
水理公式集の解説と例題	"	750円	"	80円
海岸工学の最近の進歩	"	700円	"	80円

(土木学会水理委員会刊行)

1965年水工学に関する夏期研究会講義集 A ダム・河川コース	"	2000円	学会負担
同 上 B 海岸・港湾コース	"	1500円	"
1964年水工学シリーズ B コース	"	1300円	105円 残部僅少

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

国際会議のお知らせ

SYMPOSIUM ON WEARING SURFACES FOR STEEL BRIDGE DECKS の案内

- 主 催：International Association for Bridge and Structural Engineering
 期 日：1968年9月7日
 場 所：Columbia University, New York
 主 題：1. Thin wearing surfaces
 2. Wearing surfaces on the basis of asphalt
 3. Other types of surfaces
 連絡先：Swiss Federal Institute of Technology 8006 Zürich Switzerland

第 13 回 国際道路会議開催 (XIII th World Road Congress)

1967年11月5日～11月11日まで第13回国際道路会議が東京プリンスホテルで開催されます。第1議題 一般的问题, 第2議題 道路計画, 土工, 第3議題 たわみ性舗装, 第4議題 剛性舗装, 第5議題 交通との関係における道路の構造規格, 第6議題 都市道路, 第7議題 経済的問題の7テーマを協議するほか, 見学会, レセプションなど多彩なプログラムが用意されています。外国人約600名, 日本人約700名の参加が見込まれています。参加希望者はパンフレットが準備してありますので下記へお問合わせ下さい。

記

第 13 回国際道路会議日本実行委員会 (東京都千代田区三年町 1 日本道路協会内・電 581-2211)

実験指導書ご利用の方へ

土木学会では各種の実験・試験の重要性にかんがみ, かねてより実験指導参考書の刊行を企画し, すでに土質・土木材料の二冊を刊行し, 近く水理実験指導書を発行致します。

本指導書は, 本会の高校土木研究委員会が中心となってとりまとめたものであり, その内容は学生諸君の学習上の利便を考へて編集してあり, 巻末にはデータシートもとり入れてましたので実験参考書としてぜひご利用下さい。

なお, 本会刊行の指導書を教材として部数を取りまとめてご注文いただければ割引がありますので学会へご連絡下さい。

土質実験指導書	体裁 B5判	本文 64 ページ	データシート 26 葉	定価 320 円
土木材料実験指導書	体裁 B5判	本文 118 ページ	データシート 38 葉	定価 460 円
水理実験指導書	体裁 B5判	本文 38 ページ	データシート 21 葉	定価 250 円

工事報告書類の出版に関して

学会では多くの出版事業を行なっていますが, そのひとつに工事報告書類の出版があります。関門トンネル, 若戸橋, 一ツ瀬・杉安ダム, 黒四発電所など, それぞれ企業主と十分に協議のうへで出版したものです。工事の特色と重要度, 報告書に書込まれる内容, 出版事業としての採算など出版企画委員会で検討のうへ処理いたしますからご相談下さい。窓口は事務局編集課 (351-5130) です。

明日の工事への貴重な指針となる

定評ある土木学会の報告書シリーズ

東京都新宿区四谷1丁目
振替 東京 16828 番

B5判 692頁	日本道路公団編	関門トンネル工事誌	1500円 (会員特価) 200円
B5判 2356頁	日本道路公団編	若戸大橋調査報告書・工事報告書 〈昭和39年度土木学会賞受賞〉	30000円 (千 共)
B5判 230頁	電源開発KK編	工事報告 大鳥セミアーチダム	1200円 (会員特価) 150円
B5判 346頁	編集委員会編	工事報告 川俣アーチダム	1600円 (会員特価) 150円
B5判 550頁	九州電力KK編	工事報告 一ツ瀬杉安アーチダム	2300円 (会員特価) 150円
B5判 1380頁	関西電力KK編	工事報告 黒部川第四発電所	9800円 (会員特価) 300円
B5判 950頁	編集委員会編	新潟地震震害調査報告	9000円 (会員特価) 300円

工事報告書類の出版も学会ではお引受けしております。

ご希望の向きは土木学会編集課 (351-5130) へご相談下さい。